



巻頭言

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 静岡県母性衛生学会 公開日: 2022-12-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西口, 富三 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/00004230

巻 頭 言

静岡県母性衛生学会
会長 西口富三

此の度の東日本大震災ならびに福島第一原発事故で被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。早急の復興・復旧を心より願います。

さて、静岡県母性衛生学会は今年で創立 24 周年を迎えるに至りました。本学会は昭和 62 年 5 月 16 日に設立され、川島吉良初代会長、長野壽久第二代会長、寺尾俊彦第三代会長の御尽力のもと、役員ならびに会員の皆様の御支援によりこれまで着実な歩みを続けてまいりました。一昨年より会長職を引き継がさせていただきましたが、本会の発展のために取り組んでまいりたいと考えていますので、今後も会員の皆様方の御支援、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本学会の最大の特徴は、医師、助産師、看護師、保健師、等、産科医療に係わる方々が一同に会して行う研鑽と交流の場であるということです。これは他の学会には類をみないものです。産科医師の減少、分娩施設の閉鎖、さらに助産師・看護師の不足といった多くの難題を突き付けられた現況において、本学会の存在意義は極めて高いといえます。ただ、現実的には、本会の会員数も年々減少傾向にあり、また、産科医と助産師との間に若干の垣根が相変わらず存在することも事実です。本会が意義ある、そして、魅力ある学会であることを目指し、昨年より周産期研修セミナーを開催、そして、此の度、念願の学術雑誌発刊に至った次第です。

研修セミナーに関しては、“羽衣セミナー”と称し、第一回を清水三保の地において開催しました。その趣意は、トピックスな話題も含めた研修とともに、“互いに顔の見える“交流の場を提供することにあります。交通の便は決して良くなかったのですが、予想以上の 73 名の方々に参加いただき、好評を得ることができました。今年も 9 月 3・4 日に第二回羽衣セミナーを予定していますので、多くの方々にご参加いただければと願っています。

学術雑誌創刊号に関しては、総説 1 編のほか、原著論文 2 編、症例報告 2 編、活動報告 1 編、そして、特集として“第一回羽衣セミナー”を取り上げました。肺血栓塞栓症対策（浜松医療センター院長・小林隆夫先生）、妊婦救急蘇生に関する取り組み、family centered care の実践、胎児頸部腫瘍に対する EXIT 治療、分娩時大量出血、そして、国際的な見地にたった助産師教育に関する話題等、多岐にわたり盛りだくさんな内容となっています。日常の臨床に即応できる内容もたくさん掲載されていますので、会員の皆様にとって有益なものであると願っております。尚、学術論文の作成に不慣れな方々もいらっしゃるかと思いますが、できうる限りサポートしていきますので、多くの方々からの投稿をお待ちいたします。

最後に、会員の皆様の益々のご健勝を祈願し、巻頭の辞といたします。